別添１（１）

指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　福岡自治研修センター（まなびのやど福岡）

２　指 定 管 理 者 名：　ＯＭグループ（代表団体　株式会社オーエンス）

３　指　定　期　間：　令和5年4月1日～令和10年3月31日

４　施 設 設 置 目 的：　福岡県及び県内市町村の職員の研修を行うとともに、県民に学びの場を提供し、学習活動及び交流の促進に寄与する。

５　管理運営についての点検結果（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

別添１（２）

①管理運営状況総括表

<table>
<tr><th>大項目</th><th>事業計画（取り組みや改善の内容等）</th><th>管理運営の概要</th></tr>
<tr><td>①公共性（公益性）の確保</td><td>・福岡県及び県内市町村の職員の研修を行うとともに、県民に学びの場を提供し、学習活動及び交流の促進に寄与する。

・公平かつ公正な運営を行うため、施設職員に対する研修等を行う。</td><td>・県民に学びの場を提供することを念頭に置き、スポーツ団体、同好会、企業、学校等、幅広い世代の多岐にわたる団体を受け入れ、学習活動および交流の促進を図った。また、地域団体や行政機関と連携して地域イベントへの協力や駐車場の提供などを行い、広く県民に開かれた施設運営を行った。

・障がいのある方やその同伴者の方の宿泊利用においては、予約時からヒアリングを行い必要なサポートを検討し、規程上の利用時間外においてもチェックイン及びチェックアウト対応を行うなどの合理的配慮を行い、安心かつ快適に利用できる環境の提供に努めた。

・職員に対するコンプライアンス研修を実施し、法令遵守、ハラスメント防止、利用者への適切な対応等に関して意識の向上を図った。</td></tr>
<tr><td>②施設利用及びサービス向上</td><td>・利用者満足度向上のための取組を実施する。

・多くの方に利用していただけるよう、リーフレットやWEB、直接訪問による利用案内等の広報活動を行う。

・近隣施設と連携した取組を実施し相互の施設利用を促進する。</td><td>【一般利用者数（県、市町村職員研修を除く。）】
13,208人（対前年度比102%）※令和５年７月から一般利用開始
（内訳）
<table><tr><td>研修室等の利用
（対前年度比）</td><td>12,404人
（99%）</td><td>延べ23,401人日
（104%）</td></tr><tr><td>宿泊室の利用
（対前年度比）</td><td>10,095人
（117%）</td><td>延べ15,947人日
（110%）</td></tr><tr><td>うち宿泊室のみ利用</td><td>804人</td><td>－</td></tr></table>レストランの利用　延べ47,031食

・利用者からのアンケートや意見を運営に反映し、施設運営やサービスの改善を行うことで満足度向上を図るとともに、安全・衛生管理の徹底や自動販売機設置などの利便性向上に取り組んだ。

・職員教育を通じて接遇の質を高め、利用者への積極的な声かけや丁寧な説明に努めた。

・ホームページにおいて空室状況などの最新情報を定期的に更新・発信するとともに、毎月、近郊の企業や学校等に対する直接訪問による利用案内を継続的に実施し、新規利用者の増加につながった。

・大野城市の各コミュニティセンターとは双方のリーフレット等を置き、相互の施設利用を促進した。</td></tr>
</table>

③経営（収支）改善	・施設の設置目的に沿った利用に配慮しつつ、施設利用の促進を図り、利用料収入の確保にも努める。	【収入（指定管理料を除く。）】 97,232,377円（対前年度116%） うち利用料金収入　96,521,415円 【指定管理料】 87,390,658円（物価高騰分管理経費として別途3,057,816円） ・利用者数の増加により利用料収入は増加しており、料金制度は条例に則り適正に運用している。休前日は稼働率が高い一方で、平日の利用者増加が課題である。 ・経費面では、施設の経年劣化により修繕費が増加傾向にあるものの、冷暖房の温度管理等による光熱費の節減や、適正な再委託や修繕の実施により、支出抑制に努めた。
④職員確保方策及び 健全な財政基盤	・業務内容に応じた専門の知識・経験を有する者や業務責任者を配置するとともに、適切な施設管理運営に資する研修を実施する。 ・安定した経営を行い、健全な財務体質を維持する。	・職員が安心して働けるよう、専門的かつ多様な経験を積める環境と、希望に合わせた柔軟なシフト、安全な職場を提供し、無理のない勤務体制を整えている。 ・研修や昇給制度で成長とやりがいを支え、年1回以上の面談で意見を聞きながら労使トラブルを防ぎ、ハラスメント防止規程と相談窓口を整備して安心して働ける環境を整えている。 ・就業規則や36協定の整備・届出、法改正対応や育児・介護休業制度等の整備を行い、労働関係法令を遵守している。
⑤施設管理上の個別事項	・緊急時の対応体制を確保する。 ・個人情報を適切に管理する。	・個人情報保護やソーシャルメディア利用に関する研修を実施するとともに、メール誤送信対策として対策ソフトを導入するなど、情報管理の徹底と安全確保に努めている。また、文書管理においても、必要以上の個人情報の記載を避けて保管している。 ・全職員を対象にコンプライアンス研修を行い、個人情報保護や機密情報の取り扱いを学ぶ機会を設けるとともに、相談窓口を整備して職員が安心して働ける環境を整えている。 ・設備に関する法定点検を確実に実施している。

②点検結果

□ Ａ＋　（提案内容を上回った） □ Ａ　（提案内容をやや上回った） ○ Ｂ　（概ね提案内容どおり） □ Ｃ　（提案内容をやや下回った） □ Ｄ　（提案内容を下回った）	【総合コメント】 ・利用者数や収入が前年度から増加し、利用者アンケートでも高評価を得るなど、学びや交流の場の提供を推進している。 ・職員に対する各種研修を実施し、能力やサービスの向上に努めている。 ・障がいのある方が安心して利用できるような取組を実施している。 以上を総合的に判断した結果、概ね提案内容どおりの管理運営が行われている。